

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		継続可能で隙間時間等、随時実施可能な身体運動の実施。	利用者にとって興味が持て、楽しみ、参加できる運動。	毎日実行している体操に加え、利用者の体調を考慮し、楽しく出来る、リズム体操や手指運動を行う。	3 ヶ月
2		日頃の観察では歌唱レクリエーションが最も継続しておりますが、全員が参加出来ていない様子が見られる。	各人が、馴染んだ歌を提供し回想法を繋げて行きたい。	音楽、唱歌、時代の流行歌を少しずつ広げて行きたい。	6 ヶ月
3		面会時、ご家族と外出される方もおられるが、出来ていない利用者もおられている。	目的を持ち、外出が出来る機会をつくり、楽しみの時間を提供していきたい。	近隣のふれあい喫茶や、図書館、講演等へのドライブを提供していく。	6 ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。